

Q19 場面や状況の変化に適応しにくい子どもには、どう対応したらよいでしょうか

子どもの状態

初めての場所で落ち着かず、いつまでもそわそわしたり、不安がったりする。

初めての学習や活動に取り組むときに、やり方がすぐに理解できなかったり、やることに抵抗を示したりする。

時間割や日課・行事の急な変更があったときにスムーズに適応できず、行動するのを嫌がったり、始めるまでに時間が掛かったりする。

状態の理解のポイント

- ・ 自分の周りの状況を把握して行動することが苦手である。
- ・ 周囲が自分に求めていること、期待していることの理解が困難である。
- ・ 次に起こりうることを予想できずに適切な行動ができない。
- ・ 予定や状況の変化への対応が難しい。
- ・ 物事を柔軟に考えることが苦手である。

考えられる対応

不安がったり、抵抗したりしているときは、無理やり強制せず、しばらく時間を掛けて子ども自身が気持ちを整えて落ち着くのを待つ。

自分に求められていること、期待されていることが理解できるように、個々の子どもの実態に合わせて、実物、写真カード、絵カード、文字カード等の視覚的手掛かりを利用して、課題を明確に示すようにする。(図128)

1日、1週間、1か月の予定を、実物、写真カード、絵カード、文字カード等、個々の子どもが理解できる視覚的手掛かりを利用して把握できるようにする。(図129)

変更や中止をするときは、可能な限り早い段階で予告して、気持ちを整えられるようにする。

パニック等の極度の不安・混乱・情緒不安がみられるときは、その場から遠ざけ、気持ちが落ち着くのを待ってから静かに話し掛ける。

家庭でも専用のスケジュールボードを用意させるようにして、学習、活動、行事等の予定を事前に把握できるようにする。



図128 課題の視覚的提示



図129 スケジュールの提示